

平成30年度が始まりました。昨年度に引き続き、日頃の「雑感」を綴ってまいります。
ご笑覧いただけましたら幸いです。

All for one, and one for all. No.133

*エイリョウ・アラカルト 「スキー授業」

体育授業の一環として行っているスキー授業、今年度は「比布スキー場」をお借りして実施しました。積雪の中、スキーを通して、強靱な体力、意志力、忍耐力、判断力を養い、生涯スポーツとしての社会的態度（マナー）を育むことがねらいです。



私の少年時代のスポーツと言えば、夏は草野球、冬はスキーが定番でした。当時の寒さは今以上だったと思いますが、前が見えなくなる吹雪の日も、友達と一緒にスキーを履いたまま1キロ以上の道のりをはしゃぎながら山まで行った記憶があります。（田舎でしたので、車はほとんど走っていない、時折荷を積む馬車とすれ違いました。）

私たちの周囲には、実際に経験してみないとわからないこと、また体験してみて初めて気づくことが山のようにあります。スキーもまた同じです。スキー授業から学ぶ知識、ゲレンデでのルール、スキーヤーのマナー、自然に触れることの爽快感、滑る楽しさ等々、生徒の皆さんは本当に良い経験をしています。

All for one, and one for all. No.134

H31. 2.14 「PTA合同委員会」

第2回PTA合同委員会が、午後6時から各教室にて開催されました。「年次委員会」では、各年次の活動報告及び反省と次年度に向けた改善策等が話し合われました。続く「特別委員会」では、庶務、生活、広報の各委員会に分かれ、今年度の取組を振り返りながら、成果と課題について次年度への提言をまとめてくださいました。



最後は参加者全員が一堂に会し、各委員会で話し合われた内容を報告し合い、次の年次に引き継ぐことや次年度に向けた対策案等について協議しました。学校運営には、保護者の目線からのご意見やご要望は欠かせません。学校としても、一つ一つの課題に真摯に向き合うことが大切であると考えています。

今回の合同委員会も、参加者の皆様のご協力で大変有意義な時間となりました。お忙しい時間帯にも関わらず、ご出席いただき本当に有り難うございました。

All for one, and one for all. No.135

*エイリョウ・アラカルト 「つながる心、ひろがる輪」

10月に開催された「どさんこ☆子ども地区会議」では、本校の生徒会が進行役を務め

させていただきました。管内小中高を代表する児童生徒の皆さんが一堂に会し、「いじめ根絶」に向けた各校の取組を柱に協議しました。その際、本校の生徒会執行部が「上川管内いじめ根絶ロゴマーク」を作成することになり、局からご助言をいただきながら、年末ついに完成させました。

「やさしい心をもった天使が、個性豊かな一人一人の心を大きな木に集めることによって友達の心をつなげるとともに、その木が成長することによって友達の輪を広げる様子」を表現したとのことです。

そのロゴマークデザインを、この度上川教育の皆様が素敵な「磁石つき缶バッジ」に仕上げてくれました。常に身近な所で使用することにより、この輪がどんどん広がってくれることを願ってのことだそうです。



「どさんこ☆子ども地区会議」参加校をはじめ、多くの児童生徒の皆さんの目に触れ、心に浸透していくことを考えると、改めて素晴らしい試みと感じ入ります。本校でも、全校生徒の目に触れるよう、このロゴマークを様々な場面で活用していくことを検討していきます。

All for one, and one for all. No.136

H31. 2.21 「年度末考査」



1、2年次生にとって、1年間の総仕上げとなる定期考査が始まりました。日々の努力の成果を出すために、一人一人が自分の目標に向かってベストを尽くしていることと思います。

一ヶ月後にはそれぞれが上の年次へと上がり、進路希望実現の日が刻々と近づいてきます。

生徒諸君には大きな可能性を持った輝かしい未来が待ち構えています。高校生の時にしかできないこと、高校生だから頑張れることがあります。「今」という時間を大切に、この考査も精一杯力を出し切ってくれることを期待しています。



All for one, and one for all. No.137

H31. 2.26 「上川管内教育実践表彰」

本校では、学校教育目標「国際的な視野を持ち、社会に有為な人材の育成」の実現に向けて、開校以来「グローバル教育」の推進に力点を置き、旭川市国際交流課やJICAなどの外部機関と連携した取組や、「U-18未来フォーラム事業」及び「北海道高等学校英語力向上事業」指定校として、グローバル感覚を培うための国際理解教育プログラムを積極的に実施してきました。



このたび、その取組が評価され、「上川管内教育実践表彰」をいただきました。学校としまして、実に嬉しい受賞であります。今後も、「生徒の未来に繋がるグロ

ーバル教育」の推進に、教職員一丸となって努めてまいりたいと思います。

All for one, and one for all. No.138

H31. 2. 28 「同窓会入会式」

卒業式に先立ち、「同窓会入会式」が執り行われました。落合同窓会会長様が所用にて出席が叶わず、会長代理でご来校くださったのは、旭川永嶺高校1期生の 鷲見 友愛さんです。

鷲見さんは、ご挨拶の中で「同窓会は、固い絆で結ばれた同窓が互いに支え合う組織、そして、高校再編により今後同窓会が変わりつつあること、いまこそ若い力が多くの先輩方と手を携え活性化していく時」と熱く語られました。

現在の同窓会は、本校開校時に「北海道旭川永嶺高等学校・北海道旭川凌雲高等学校同窓会」と改名されました。また、近い将来、本校のもう一つの前身となる北海道旭川東栄高等学校同窓会の皆様との統合も検討されていると伺っています。卒業生数は1万7千人余り、多くの仲間が集い、互いに支え合う組織として益々の活性化が期待できそうです。



懐かしい友といつまでも語り合い、その都度勇気と希望を持ち帰れるような、そんな同窓会であり続けて欲しいものです。

それにしても、卒業してまだ2年とのことですが、鷲見 友愛さんの落ち着いた、振舞い、話の内容、どれをとっても本当に素晴らしかったです。これからも同窓会の先輩として新しい風をどんどん送り込んでください。

